

平成29年8月24日(木) 荒川水系渇水調整協議会 (事務局: 関東地方整備局)

記者発表資料

荒川水系の取水制限を全面解除

荒川水系渇水調整協議会(会長:国土交通省関東地方整備局河川部長小林 稔)では、7月下旬からの断続的な降雨により、河川流量が増加し、荒川ダム群等の貯水量も回復したことから、8月25日(金)9時をもって取水制限を全面解除します。(詳細は別紙のとおり)

なお、本協議会では、7月5日(水)9時から10%、7月21日(金)9時から20%の取水制限を実施していましたが、降雨により河川の流量が増加したことから、8月7日(月)9時から、一時的に取水制限を緩和しておりました。

皆様におかれましては、節水にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。 引き続き、限りある水資源を有効に活用していただきますようお願いいたします。

※荒川水系渇水調整協議会

構成:国土交通省関東地方整備局、農林水産省関東農政局、

東京都、埼玉県及び独立行政法人水資源機構

協議会の目的: 荒川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る

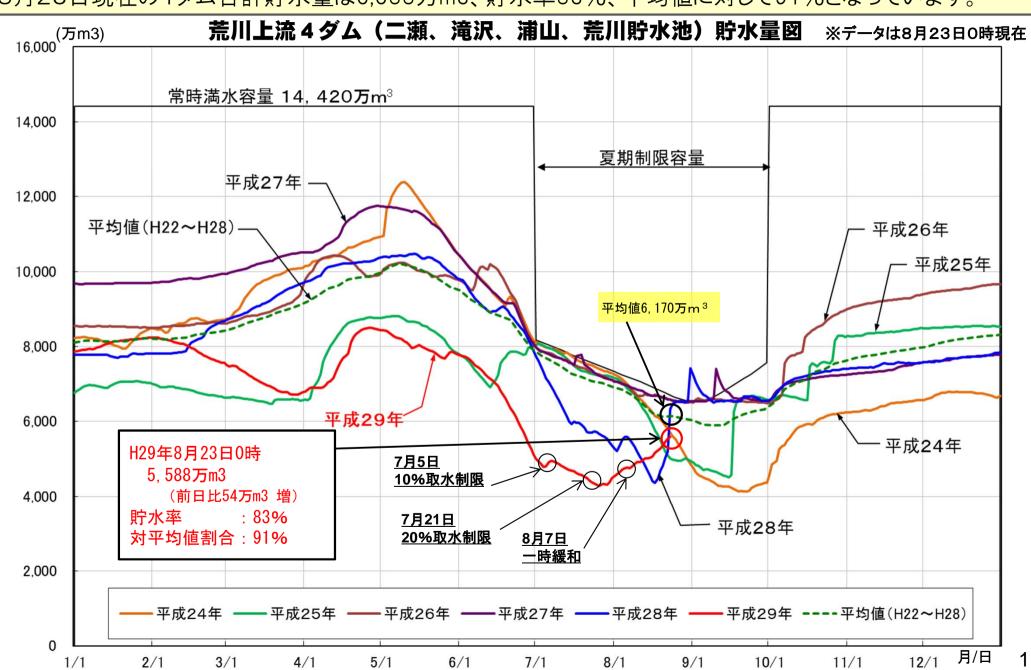
発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、 東京都庁記者クラブ、水資源記者クラブ

		問い合	わ せ 先			
国土交通省			住所 〒330-9724			
関東地方整備局	河川部		埼玉県さいたま市中央区新都心2-1			
河川環境課	かげやま きよ		さいたま新都心合同庁舎2号館			
河川環境課長	がげゃま きょ 内線	3651	電話 (代 表) 048-601-3151			
建設専門官	延常。浩次(内線	3652				
水政課	おおた ひろのり					
水政調整官	太田 浩徳 (内線	3515				
水政課長	石田。武史(内線)	3551				
課長補佐	山本 典 (内線	3557				

荒川上流 4 ダムの貯水量変化

荒川上流4ダムでは、7月下旬からの断続的な降雨により、合計貯水量が平均値の9割まで回復しました。 8月23日現在の4ダム合計貯水量は5,588万m3、貯水率83%、平均値に対して91%となっています。



荒川上流4ダムの貯水状況(平成29年8月23日)

荒川上流4ダムの8月23日現在の各ダム貯水量は、荒川貯水池を除いて平均値の7~9割となっています。

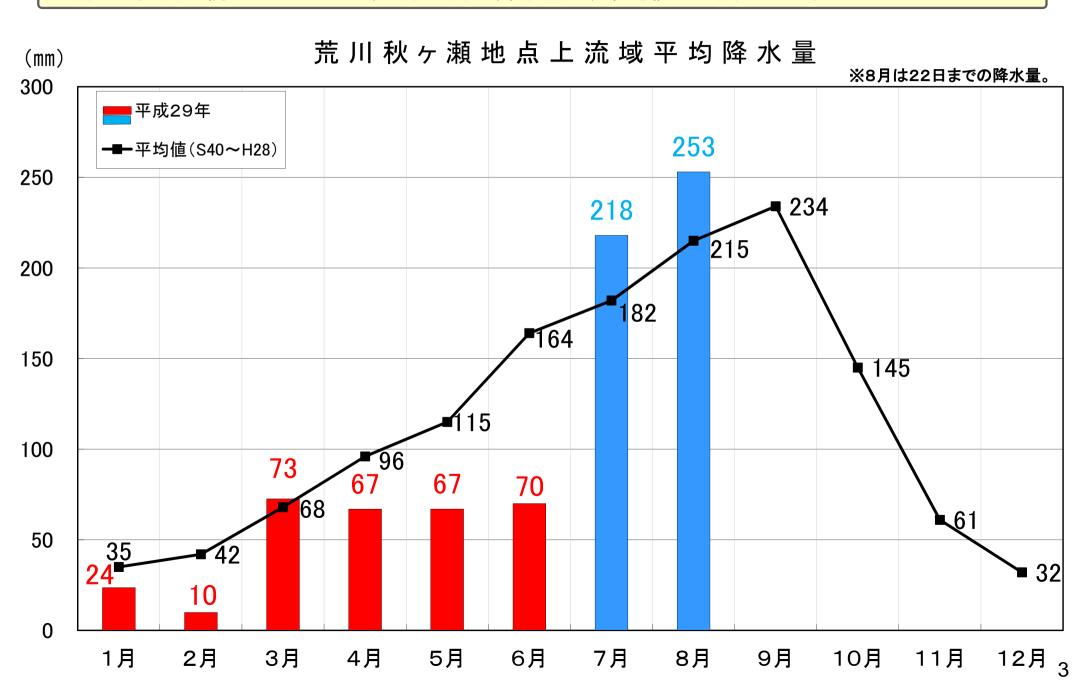
※データは8月23日0時現在

ダ ム 名	有効容量 ^{※ 1} 万m3	前日貯水量 ^{※2} 万m3	現貯水量 ^{※ 2} 万m3	貯水率 ^{※3} %	前日補給量 ^{※4} 万m3/日	平均貯水量 万m3	平均値に対する割合 ^{※ 5} %
二瀬ダム	140	112	95	68	17	126	75
滝沢ダム	2, 500	1, 914	1, 947	78	-33	2, 288	85
浦山ダム	3, 300	2, 719	2, 755	83	-36	3, 055	90
3 ダム計	5, 940	4, 745	4, 797	81	-52	5, 469	88
荒川貯水池 ^{※6}	760	789	791	100	-2	701	113
4 ダム合計	6, 700	5, 534	5, 588	83	-54	6, 170	91

- ※1 有効容量は夏期制限容量。
- ※2 貯水量は速報値。
- ※3 貯水率は有効容量(夏期制限容量)に対する現貯水量の割合。
- ※4 前日補給量とは前日(0時)の貯水量と本日(0時)の貯水量の差。 (値がマイナスの場合は、ダムに水を貯めている状況(貯留)です。値がプラスの場合は、ダムに貯めた水を川に流している状況(補給)です。)
- ※5 平均値に対する割合とは本日の貯水量と貯水量の平均値(平成22年~平成28年)に対する割合。
- ※6 荒川貯水池(彩湖)では水質改善のため、同貯水池において、7月21日(金)~9月末までの期間に洪水期満水位を超える貯留を行います。 貯留した水を貯水池内で循環させること、また、貯留した水を放流することで水質改善を図ります。

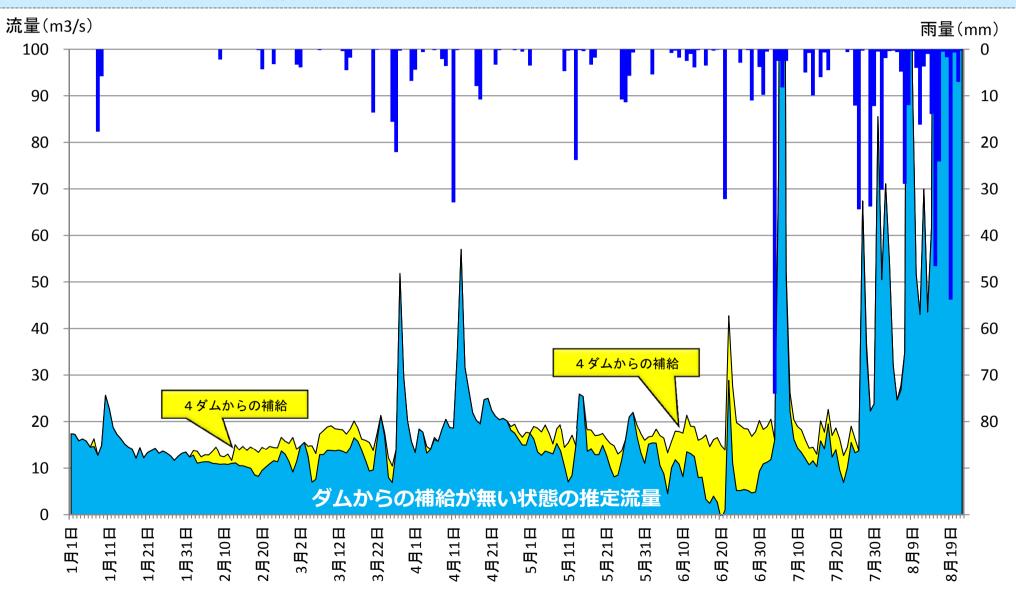
荒川 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量

1月から少雨が続いていましたが、7月・8月の降水量は、平均値を上回りました。



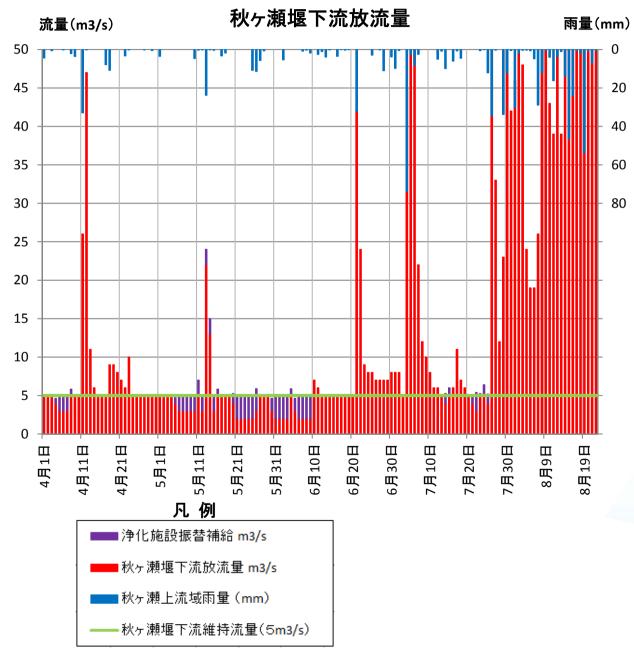
荒川上流4ダムからの補給状況(平成29年8月22日まで)

安定的な水利用のため、平成29年1月1日から8月22日までの期間で、荒川上流4ダム(二瀬・滝沢・浦山・ 荒川貯水池)から約6,000万m3 補給しました。なお、7月下旬からの断続的な降雨により河川流量が増加し たため、荒川上流4ダムからの補給の必要が無くなり、貯水量の回復に努めました。



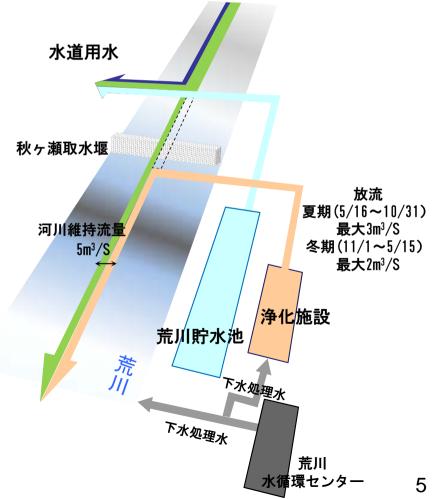
浄化施設(荒川第一調節池)の運用状況

河川流量の減少により、秋ヶ瀬取水堰下流への維持流量(5 m3 /s)が不足するときに浄化施設から振替補給することで、荒川上流ダム群からの補給が削減されました。 ※4月1日から約700万m3 の振替補給



荒川本川流量で水が足りないとき

- ① 荒川貯水池から秋ヶ瀬取水堰の上流に補給し、水道用水を確保します。
- ② 下水処理水を浄化施設に導水して浄化し、秋ヶ瀬取水堰下流 への維持流量の一部として流下させます。 その分が水道用水として取水可能となります。
- (①または②、あるいは両方同時に運用されます。)



荒川上流4ダムの状況 (1/2)

最低貯水量時



貯水位 515.48m 6月30日0時 貯水量 360万m3、貯水率 18% ※常時満水容量 2,000万m3 に対する割合



5月16日0時 貯水位 -0.45m 貯水量 535万m3、貯水率 52% ※常時満水容量 1,020万m3 に対する割合

現 在



8月23日0時 貯水位 506.32m 貯水量 95万m3、貯水率 68% ※夏期制限容量 140万m3 に対する割合



8月23日0時 貯水位 1.92m



<u>荒川</u> <u>貯水池</u>

二瀬ダム

荒川上流4ダムの状況 (2/2)

最低貯水量時

7月31日撮影

7月30日0時 貯水位 355.97m 貯水量 2,010万m3、貯水率 61% ※夏期制限容量 3,300万m3 に対する割合



7月27日0時 貯水位 520.35m 貯水量 1,212万m3、貯水率 48% ※夏期制限容量 2,500万m3 に対する割合

現 在



8月23日0時 貯水位 365.76m 貯水量 2,755万m3、貯水率 83%に対する割合



8月23日0時 貯水位 530.59m 貯水量 1,947万m3、貯水率 78%

、※夏期制限容量 2,500万m3 に対する割合

滝沢ダム

浦山ダム

利根川水系・荒川水系の主要なダム位置図

